

Title	表紙・その他
Author(s)	
Citation	物理化学の進歩 (1941), 15(4)
Issue Date	1941-07-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/46272
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

日本物理化学研究会役員 (順序不同)

會 長	大 幸 勇 吉				
顧問	藤 井 榮 三 郎				
商 議 員	荒 勝 文 策	千 谷 利 三	花 島 幸 一	渡 多 野 貞 夫	
(ABC順)	堀 場 信 吉	堀 内 善 郎	市 川 禎 治	飯 盛 里 安	
	城 野 和 三 郎	片 山 正 夫	菊 池 正 士	木 村 正 路	
	喜 多 源 逸	松 岡 假 躬	仁 田 勇	鮫 島 實 三 郎	
	佐々木 中 二	四 手 井 次 太 郎	川 丸 節 郎	富 永 齊	
理 事 長	羽 田 亨				
常務理事	堀 場 信 吉				
理 事	松 井 元 興	片 山 正 夫	喜 多 源 逸	仁 田 勇	
監 事	鐘 江 富 次	福 原 義 人	窪 川 眞 男	田 村 幹 雄	
	外 山 修				
主 事	松 山 秀 雄				

「物理化学の進歩」編輯役員

編輯主幹	堀 場 信 吉	鮫 島 實 三 郎
編輯幹事	外 山 修	
編輯委員	萩 原 篤 太 郎	李 泰 圭
	久 米 泰 三	川 北 公 夫
		後 藤 康 平
		戸 川 治 之



特 殊 會 員 芳 名

(昭和十六年二月)
現在, A B C 順)

名 譽 會 員

松 井 元 興 殿

賛 助 會 員

濱 口 富 三 郎 殿

金 季 殊 殿

山 本 信 夫 殿

蒲 田 政 次 郎 殿

瀧 野 孫 二 殿

全 用 淳 殿

龜 田 利 吉 郎 殿

津 川 三 郎 殿

木 俣 泰 清 殿

山 田 孝 三 郎 殿

維 持 會 員

江 副 孫 右 衛 門 殿

清 水 侍 郎 殿

團 體 名 譽 會 員

日 曹 製 鋼 株 式 會 社 殿

團 體 賛 助 會 員

旭 ベンベルグ 綢 絲 株 式 會 社 殿

川 西 機 械 製 作 所 殿

日 本 クロ ス 工 業 株 式 會 社 殿

堺 化 學 工 業 株 式 會 社 殿

わかもと 本 舖 殿

第 一 工 業 製 藥 株 式 會 社 殿

南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社 殿

日 本 製 鍊 株 式 會 社 殿

白 石 工 業 株 式 會 社 殿

大 日 本 硝 子 株 式 會 社 殿

日 本 電 池 株 式 會 社 殿

日 本 香 料 藥 品 株 式 會 社 殿

東 京 電 氣 株 式 會 社 殿

團 體 維 持 會 員

旭 電 化 工 業 株 式 會 社 殿

イ ソ ラ イ ト 工 業 株 式 會 社 殿

コ ロ イ ド 製 藥 株 式 會 社 殿

日 本 光 學 工 業 株 式 會 社 殿

日 本 曹 達 株 式 會 社 殿

岡 田 電 氣 商 會 殿

島 津 製 作 所 殿

住 友 電 線 製 造 所 殿

東 邦 産 業 研 究 所 殿

朝 鮮 窒 素 肥 料 株 式 會 社 殿

川 崎 造 船 所 殿

三 菱 電 機 株 式 會 社 殿

日 本 石 油 株 式 會 社 殿

日 本 水 素 工 業 株 式 會 社 殿

大 阪 窯 業 セ メ ン ト 株 式 會 社 殿

新 興 化 學 研 究 所 殿

高 砂 香 料 株 式 會 社 殿

東 海 電 機 製 造 株 式 會 社 殿

古 河 電 氣 工 業 株 式 會 社 殿

國 産 工 業 株 式 會 社 殿

日 本 板 硝 子 株 式 會 社 殿

日 本 染 料 製 造 株 式 會 社 殿

日 産 化 學 工 業 株 式 會 社 殿

フ ヲ 工 業 株 式 會 社 殿

瀧 野 香 料 株 式 會 社 殿

東 邦 瓦 斯 株 式 會 社 殿

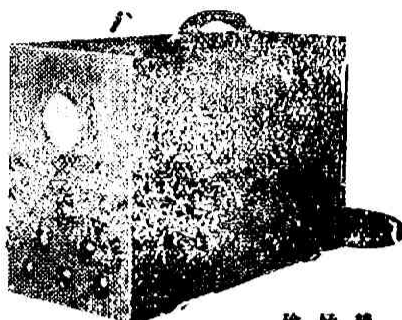
マツダ測定器各種

光電池應用器具

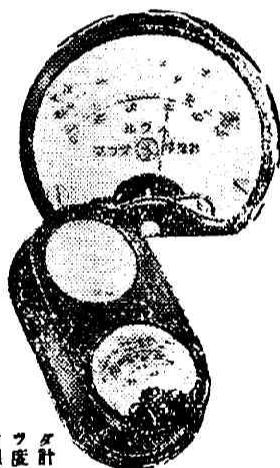
照度計、透過率計
反射率計、比色計

光電管應用器具

光電照度測定装置
光電測光装置
紫外線測定器



陰極線
オシログラフ装置



マツダ
照度計

陰極線オシログラフ装置
並に附屬装置
ストロボ装置
各種發振器
並にブリツ

川 崎 市

マングラ ・マツダ真空管製造元

東京芝浦電氣株式會社 マツダ支社

昭和16年7月25日印刷
昭和16年7月31日發行

物理化学の進歩
第15巻 第4輯
(年6回刊行)

編集發行者

堀 場 信 吉

監 査 者

福 井 松 之 助

印 刷 所

株式會社 似 玉 堂

京都市中京區神馬場三條南

定價 60錢 (送料6錢)

會員會費1年分3回

發 行 所
(入會申込所)

日本物理化学研究會
振替・京都6047番
(日本出版文化協會會員 No. 222065)

配 給 元

日本出版配給株式會社

販 賣 所

岩 波 書 店
東京市神田區一ツ橋二ノ三
丸善株式會社京都支店
京都市中京區三條東馬場

◇ 本誌に關する批評、注意、要求は京都帝國大學物理化学研究室内、外山 宛に願ひます。

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiha, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XV, No. 4

July, 1941

Contents

Originals

R. Negishi: The Solubility of Solid Benzene in Several Non-Polar
Liquids 99

Akio Hayakawa and Rempei Goto: On Explosive Reactions of Gases.
II. Spark Ignition of Oxyhydrogen Gas at Low Temperatures.....118

Communications to the Editor

R. Negishi: Iso- and Normal Butyl Alcohols from Carbide127

Abstracts of Physico-Chemical Literature in Japan129

Reviews

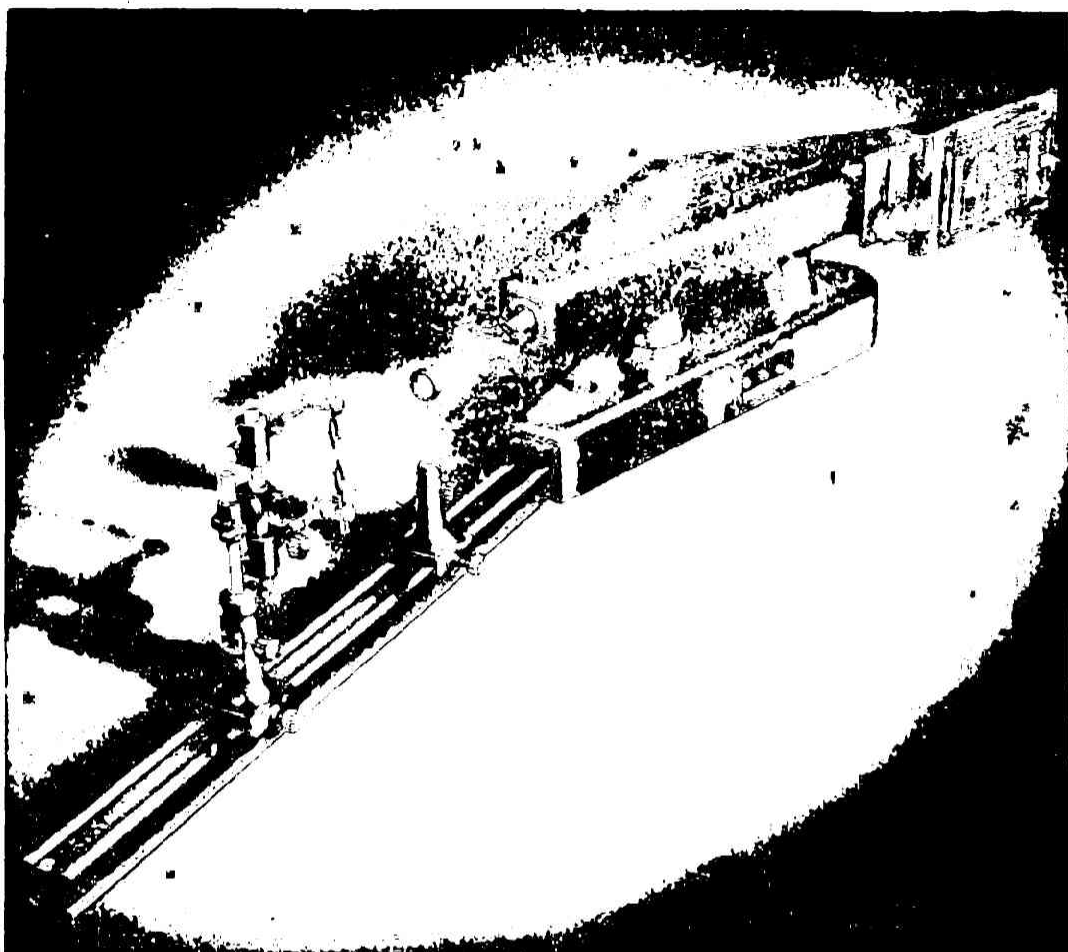
S. Tutihasi: The Acid Treatment of the Glass Surface109

K. Kawakita: The Thermodynamics of the Hydrocarbons. I118

Abstracts.....145

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan



島津分光分析装置

詳細型録呈

島津製作所

京都・大阪・東京・福岡・新京・大連 奉天・北京・京城・臺北・名古屋・神戸

化學特許總覽

四六倍版 背皮金文字入表裝 全卷十四冊
各卷 一二〇〇頁程度全卷 二〇〇〇〇頁
定價一冊 二拾四圓 全卷 三百三十六圓
每月二冊配本 (配本と同時に拂込)

諸産業の根幹となるべき化學工業の發展は近時目覺しき發展を遂げ、今や各國共運の消長を化學發明の一時に賭け競つて之が研究に没頭しつゝある時、今時我が國化學工業の基礎力であり且之が最高の技術を示す全化學發明即ち過去十五ヶ年(特許有效年限)に特許せられたる諸外國及國內の學者が苦心研究の末發明せる化學特許を此の際一應檢討し自己のものとする事は極めて緊急を要する事である。然るに之等過去十五ヶ年間に於ける化學發明の全般を知る事は諸種の事情よりして極めて困難なる事であつたが、當會としては最近勃然として起りたる之が發表の要望に對視し得ず此處に過去十五ヶ年間に於ける全化學最高技術發明の發表を企圖した次第である。大方御覽同の上是非御購讀乞ふ。

全化學商品を二百八十四種に分類掲載最近十五ヶ年間(自昭和初年一至昭和十五年) 特許發明内容詳細掲載商品別分類可能權利存續の有無表示

第一回配本	第一輯 上下	自昭和初年一	至昭和三年	第二回配本	第二輯 上下	自昭和四年一	至昭和五年
第三回	第三輯	昭和六年	昭和七年	第四回	第四輯	昭和八年	昭和九年
第五回	第五輯	昭和十年	昭和十一年	第六回	第六輯	昭和十二年	昭和十三年
第七回	第七輯	昭和十四年	昭和十五年	(本年配本完了)			

發明公報

機械工業編	月二圓
化學工業編	月二圓
電氣工業編	月三圓
纖維工業編	月一圓
特許新案目次編	月五十錢

戰時下最高の技術發明の公開誌

發明の普及は遂自癡まりつつあるも、新規なる發明考案が發表せられても、其の全部を知る事は時間的或は經濟的其他總ゆる方面よりしても困難なる事であつた。又從來諸種の雜誌に發明考案の一部若くは局部的に之が掲載せられたるもの存すれ共、其の何れに於ても秩序だつたるものに非ず、又特許法的に見ても異議申立期間其他を考慮せざるものであつた。然るに本誌は特許局に於て逐次發表せらるゝ特許新案の新規發明の全部の内により化學・電氣・機械・纖維の各工業に屬するものを夫々商品別に分別集録し其の要旨を簡明に把握し何人が見ても一目瞭然たらしめたるものにして之が報道の迅速、正確、利用の簡易等と俟ち戰時下各業界に携はる人々に最高技術を示唆する萬人必讀の技術發明の公開誌。

發行所

東京市赤坂區
溜池町五番地

發明公報協會

電話赤坂(48)2332, 4849
振替口座東京 15618

財団法人 日本化学研究会編纂

主幹 理學博士 眞島利行

月刊

日本化学總覽

規格 B5 版・八ポイント横組・毎號 60 頁内外

日本化学總覽は我が國に於て發表せる理・工・醫・薬・農の諸學術方面に亙る雑誌・報告書・特許公報等約 300 種の原報より化学關係の業績は總て迅速に要點を抄録報導す。一讀よく本邦化学關係研究の報告及特許等の内容を容易且つ最も經濟的に知悉し得べく、研究家、實際家並に發明家の研究工夫に裨益する處尠からざるべし。毎卷完全なる「著者名及事物索引」を附す、本總覽の活用上必要缺くべからざるものにして、蓋し本誌の一大特色とす。

内容見本進呈

會員略規

月刊雑誌「日本化学總覽」は本會會員に配布す。入會御希望の方は半ヶ年分以上の會費を添へて直接本會に申込まれたし。

通常會員の會費一年分（前納の事 2 回に分納可）次の如し

甲種（索引及製本用表紙配布）9 月 74 錢 乙種（索引配布）8 月 74 錢

〔化学關係學會員並に學生諸君には割引す： 甲種 8 月 10 錢 乙種 7 月 20 錢〕

— 待望の 日本化学總覽 完備す —

第一集 第壹卷—第七卷

7 冊 明治 10 年より大正 15 年まで 50 年間

本邦に於て研究發表せる化学及關係學術の文獻及び發明者苦心の成果たる特許（特許番號 No. 1 より集録）の内容を抜萃して集載せるものなり

第二集 第壹卷—第十三卷

13 冊 昭和元年以後の文獻を抄録集

載す。昭和 2 年以來毎月發行せる總覽を分冊したるものなり

定價各冊 ￥ 12.50 送料 ￥ .45

財団法人 日本化学研究会 仙臺市東三番町一八七

振替仙臺 8158・電話仙臺 4461

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

月 刊 化 學 評 論

一冊 60 錢
(送料2錢)
前金 一年6圓
(送料共)

第 7 卷 第 5 號

- | | | |
|---------------------------|-------|-----------|
| [260] メタノール合成法..... | 工學博士 | 藤 村 建 支 |
| [261] 製造有機化學の新方法(IV)..... | 理學博士 | 船 久 保 英 一 |
| [262] コークス反応性測定法..... | 工 學 士 | 井 本 英 二 |
| [263] 硫化建染染料..... | 工 學 士 | 西 尾 醇 |
| | | 矢 野 順 三 |

第 7 卷 第 6 號

- | | | |
|--|-------|-----------|
| [264] 製造有機化學の新方法(V)..... | 理學博士 | 船 久 保 英 一 |
| [265] コークス堅牢度..... | 工 學 士 | 井 本 英 二 |
| [266] Roginsky 一派の瓦斯吸収による
觸媒作用の促進に關する研究 | 工 學 士 | 西 尾 醇 |
| [267] 鎖状高重合體の強度的性質に就て | 理 學 士 | 松 村 彰 一 |
| | | 上 野 昭 雄 |

化 學 評 論 社

編 輯 所

京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學
工 業 化 學 教 室 喜 多 研 究 室
電 話 上 九 八 〇 番 (學 內 十 九 番)

發 行 所

大 阪 市 西 區 京 町 堀 通 一 丁 目
電 話 土 佐 堀 二 四 〇 ・ 四 六 八 番
振 替 口 座 大 阪 一 七 六 一 三 番

X 線

X 線 懇 談 會 發 行

大 阪 市 北 區 中 之 島 三 丁 目
大 阪 帝 國 大 學 理 學 部 內
振 替 大 阪 1 2 2 7 1 5 番

X線懇談會はX線並に其の應用に關する本邦唯一の綜合的研究團體。機關誌X線の編輯委員及び執筆者は各界の權威を網羅す。入會規約趣意書申込次第贈呈す。(會誌X線は會員に無料送呈。1部費は定價50錢、送料3錢。但し例會出席は會員にのみ通知す。)

“X線”創刊號主要目次

(研 究)

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 石炭のX線研究..... | 松 永 義 明 |
| 生ゴムの結晶化 (其の一)..... | 朴 哲 在 |
| 纖維内クリスタリットの配列決定法に
就いて..... | 吳 祐 吉 |

(綜 説)

- | | |
|--------------------|---------|
| 金屬材料學方面へのX線應用..... | 田 中 晋 輔 |
|--------------------|---------|

(講 義)

- | | |
|--------------------|---------|
| X線透過検査法 (其の一)..... | 關 戸 信 吉 |
|--------------------|---------|

(抄 録)

- | | |
|--------------|----------|
| A. 一 般 | B. 装 置 |
| C. スペクトル及び理論 | E. 金 屬 |
| F. 纖 維 | G. 無 機 |
| H. 有 機 | I. 電 子 線 |

第2卷第1號主要目次

(研 究)

- | | |
|--|---------|
| 生ゴムの結晶化 (其の二)..... | 朴 哲 在 |
| パラフィン薄膜内の分子排列..... | 田 中 憲 三 |
| 高級脂肪族、高級アルコール、高級ア
ルコールの硫酸エステル、Na鹽結晶
に於ける種々の變態の共存に就て..... | 瀧 野 桂 六 |

(綜 説)

- | | |
|-------------------|---------|
| 結晶に依るX線の異常反射..... | 澤 田 昌 雄 |
|-------------------|---------|

(講 義)

- | | |
|--------------------|---------|
| X線透過検査法 (其の二)..... | 關 戸 信 吉 |
|--------------------|---------|

(抄 録)

- | | |
|--------------|------------------------|
| A. 一 般 | B. 装 置 |
| C. スペクトル及び理論 | D. 透 過 試 驗 |
| E. 金 屬 | F. 纖 維 及 び 高 分 子 化 合 物 |
| G. 無 機 | H. 有 機 |
| I. 電 子 線 | |
- 本邦に於けるX線學に關する文獻 (其の一)

月刊 自然科学雑誌

科學

編輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴川桂太 大河内正敏 小泉 丹
柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 仁科芳雄 主任 石原 純

自然科学の進展目ざましく、學界の活躍益々盛んならんとする時、苟も之に心を寄する人々は自然科学全般の不斷の情勢を知るべき何等かの機關を必要とするであらう。

本誌は英の Nature, 米の Science, 佛の Revue générale, 獨の Naturwissenschaften 等と使命を同じうするものであつて發刊以來 10 年の歳月を閲し、茲に全く我國唯一の一般自然科学雑誌としての内容、體裁、權威を具ふるに到つた。學徒諸士は本誌によつて初めて各自に必要な視野を得られるであらう。

8 月 號 内 容

卷 頭

科學と藝術

論 述

矢野健太郎：接續幾何學

川上 理一：左右對稱の法則に就て

學界展望

梅澤 純夫：有度微分分析に於ける最近の發達 (I)

徳田 御睦：區系的日本生物地理の諸問題 (I)

寄 書

京大森原・水渡兩氏の實驗に就いて(菊池正士・武田榮一)、氣象病とヒスタミン様物質(II)(増山元三郎)、火花機電器による飛行彈丸の撮影(清水武雄・平田森三)、高野長英の“三才窮理書”について(矢島祐利)、鬼首辨天新吹上間歇泉第五號泉の噴發機構について(野田雄吉)、土壤層によつて誘起される彈性波の伝わり(山本武夫)、凝乳酵素に及ぼす硫化水素と重金屬鹽類の協同作用(守山英雄・大橋佑吉)。

拔 萃

Hekmann Weyl: 數學的な考へ方 (I)

科學雜纂

原 光 雄: Dalton の原子概念について (I)

蜂須賀正氏: ニューギニア探検の話 (II)

研究室概説

東京帝國大學理學部植物學教室沿革梗概 (VI) (小倉謙)。

新刊書—科學時事—學會及個人消息

日本學術振興會學術部研究彙報

發行所 東京市神田區 岩波書店

定價 50 錢 (送料 1.5 錢)

電話九段 (33) 代 0187

半年分(増刊號共7冊)¥3.40, 1年分(増刊號共14冊)¥6.80 振替口座東京 26240